

相模経済新聞

THE SAGAMI KEIZAI

投資判断 どうする？

経営者5人が本音トーク

相模原商工会議所は13日、市立産業会館で若手経営者などを対象とした「モノづくりビジネススクール」を開いた。活躍する中小製造業の現役経営者5人が講師になり、「投資判断」などについて、自身の経験談を交えながら話していた。なかでも人材採用の話題では、それぞれの経営者が持論を展開した。

(千葉 龍太)

相模原商議所が主催

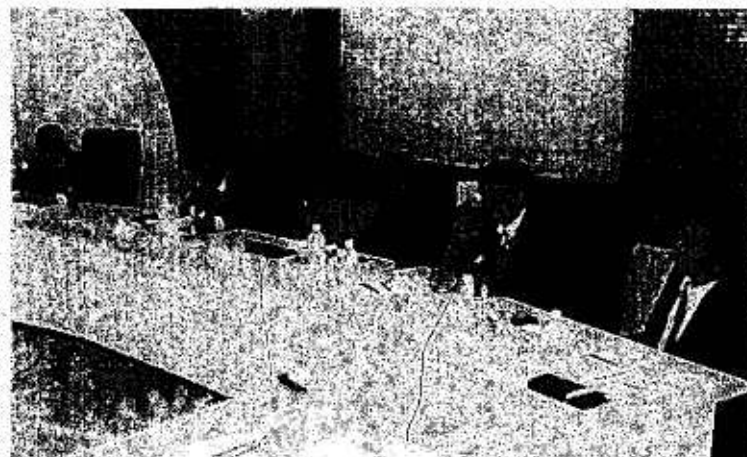
同スクールは、相模原商工会議所が創立40周年記念事業として企画した。全5回、42歳以下の若手経営者、将来経営を担う人が対象。

3回目となる今回は、湘南デザイン・松岡康彦CEO、山崎利宏・城山工業社長、西澤勇司・キヤロットシステムズ社長、古田英訓・ミノシロ

ジステック社長、小林昌純・コバヤシ精密工業社長が講師を務めた。5人は「投資判断」についてパネルディスカッションを行った。具体的には、人材や土地や設備、情報といったなかで、それぞれの経験

談を交えながら話していた。なかでも企業にとって重要になる人材採用の話では白熱した内容となった。

「新卒と中途採用のミックスがよい」(古田社長)、「新卒を育て会社に貢献するまでには10年以上かかる。専門性を持った中途採用が重要」(山崎社長)などの意見があった。また、「中途採用を、新卒採用を3の割合にす



パネルディスカッションに参加した経営者

実用重視の給与計算

ソフトなどで3000本を販売した。問い合わせは、ペー

タ・テクノロジ1042(704)8965まで。(本橋 幸彦)

参加者は自社経営に直結する内容のため、熱心に出て入っていた。